

関係者別の成果のハイライト

サイトメガロウイルスの早期診断による母体管理の改善と胎児の感染および合併症リスクの削減

 患者	診断率の向上	体系的なスクリーニングプログラムの導入により、サイトメガロウイルス（CMV）感染症の妊婦を2.6倍多く特定しました。この数値は、スクリーニングを実施してCMV陽性であることが特定された妊婦が2.5年間で新たに16人増加したこと（10人から26人）に基づいています。
	健康状態の改善	CMV陽性と診断された妊婦から乳児への先天性CMV（cCMV）の感染が23%減少（50%から27%）。これには、対象となる母体の妊娠初期における治療による11人の先天性感染の完全な軽減、ならびに、CMV未治療でCMV陽性の妊婦における同等の感染率（50%対47%）が含まれます（妊娠初期かそれ以降のいずれかの時点）。
 臨床医	満足度の向上	「妊婦から赤ちゃんへのCMV感染は回避できる可能性があり、感染を防ぐためにできる限りのことを行っていると知ることは、特に有症の母親が胎児について心配している場合に、やりがいを感じます。早期の抗ウイルス治療は希望をもたらします。」 - Caly 医師、リモージュ病院の産科医
 医療制度 / 病院経営	評判の強化	7カ所の病院におけるスクリーニングプログラムの運用開始が成功したことで、他の3カ所のフランスの病院でも関心が高まりました。我々はこれらの病院に対して、同様の取り組みについてコンサルティングを行っています。
 医療費	医療費の軽減	長期的な健康問題（難聴、視力低下、知的障害など）の緩和によってcCMVの進行を軽減することで、患者の小児1人あたり€766,444のコスト削減につながる可能性があります。 フランスにおける従来のcCMV感染率が0.4%であり、リモージュ病院では年間の出生数が2570人であること〔年間10人の新生児が感染している可能性が高い〕に基づき、CMVの感染が23%低下すると、2～3名の新生児においてcCMVが回避され、CHUリモージュでは年間150～230万ユーロの費用回避につながります。